

子どもの教育に関するアンケート



調査概要

プラメドの医師会員に聞きました！とは…

「プラメド会員の先生が他のプラメド会員の先生に聞いてみたい」テーマで実施するアンケートです

- ◆調査名 : 子どもの教育に関するアンケート
- ◆調査期間 : 2016年11月14日（月）～21日（月）
- ◆調査手法 : インターネットアンケート
- ◆対象者 : お子様がいらっしゃるプラメド会員の先生
- ◆回答者数 : 1,089名

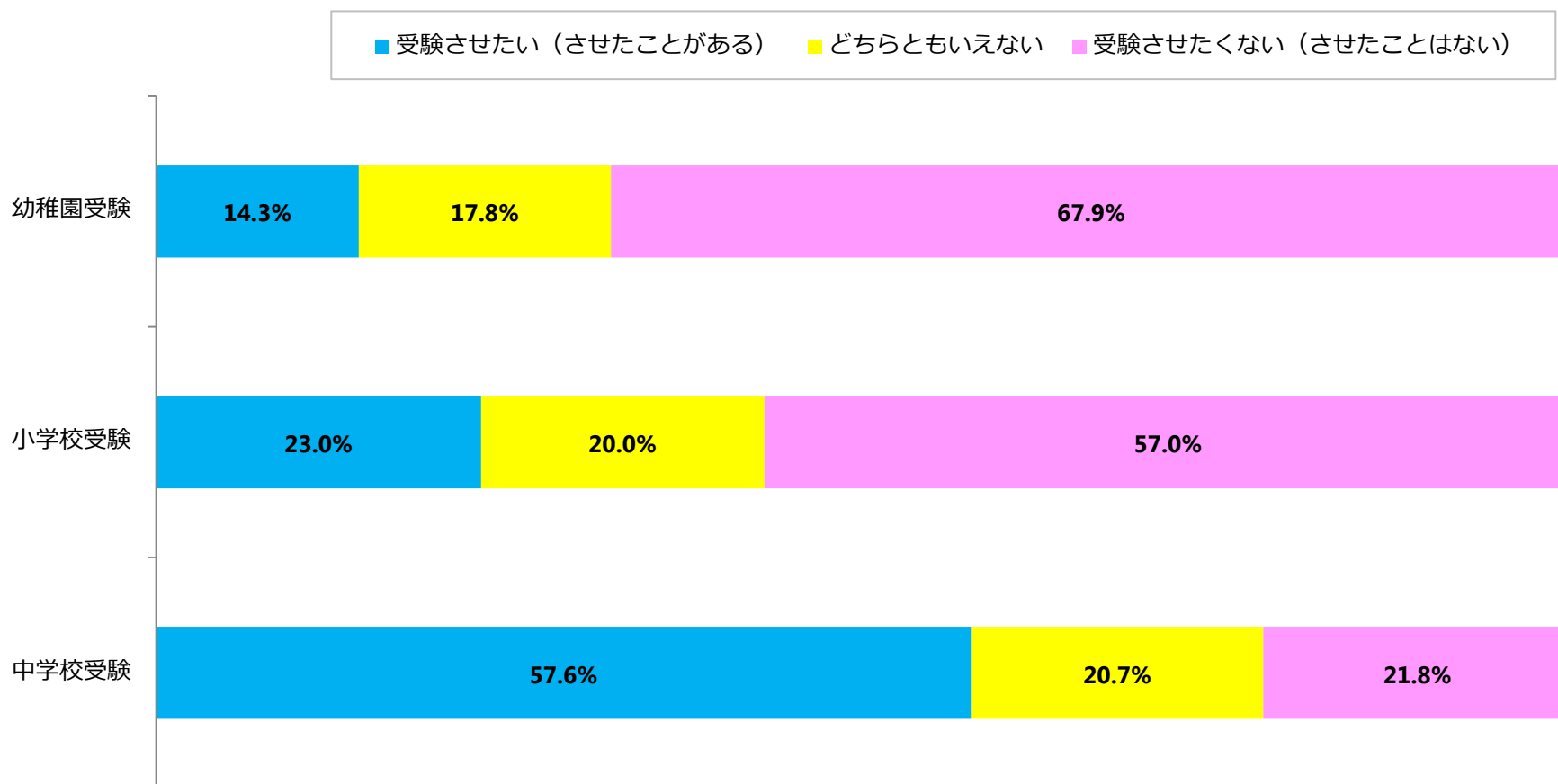
◆調査概要 :

- ・お子様の受験についてのお考え（ご経験）
- ・お子様が実施していた（している）学習方法
- ・お子様の教育への関わり方
- ・お子様の将来について

※調査結果内のN表記について：N=総回答者数、n=一部の回答者数を表しています。

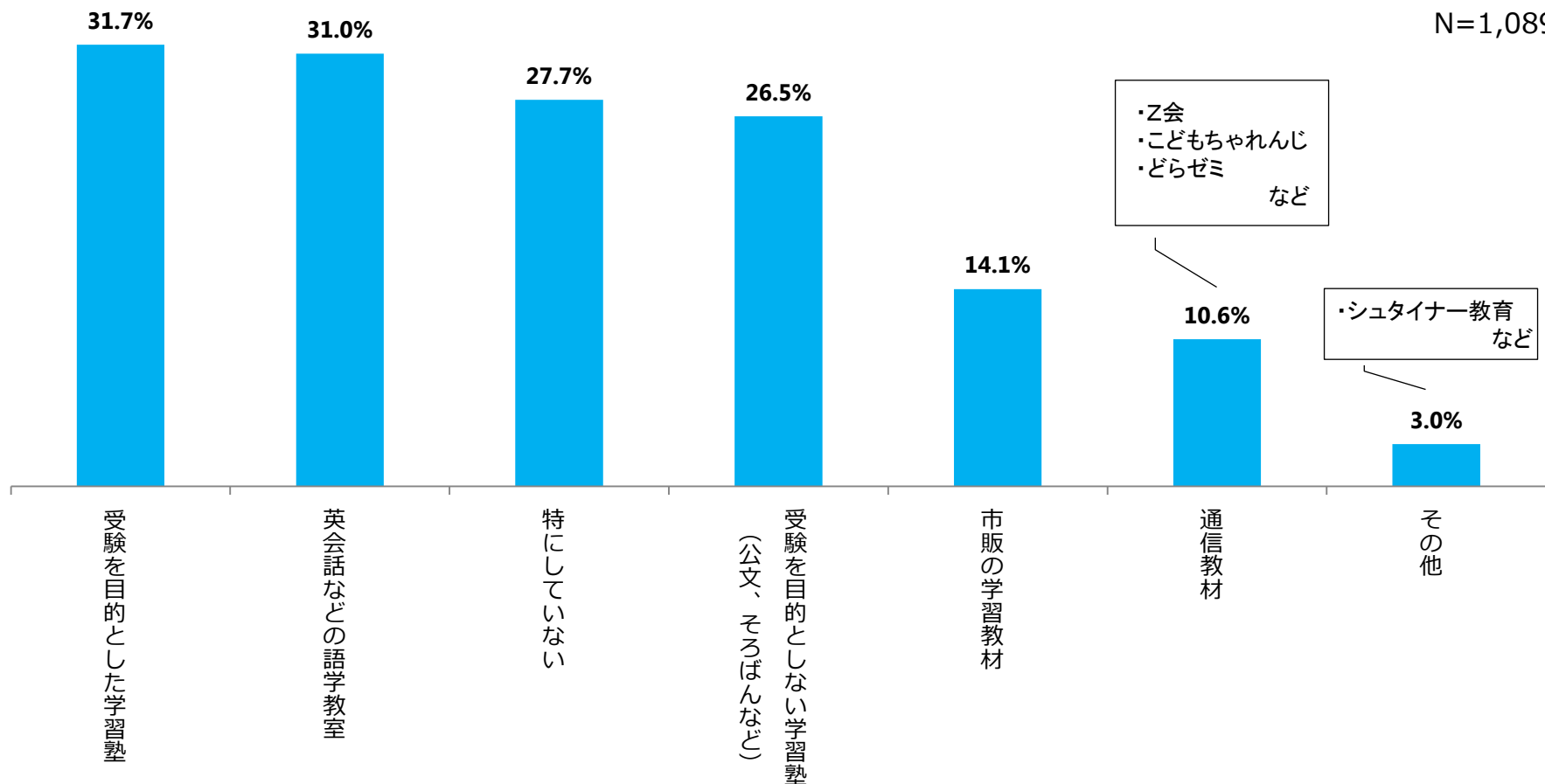
お子様の受験についてのお考え（ご経験）

N=1,089



◎幼稚園受験では、お子様を「受験させたい（させたことがある）」と回答された先生は約15%に留まったが、小学校受験になると約20%、中学校受験では約60%とお子様の学年が上がるにつれて多く挙げられた。

お子様が「就学前」に実施していた（している）学習方法 ※複数回答

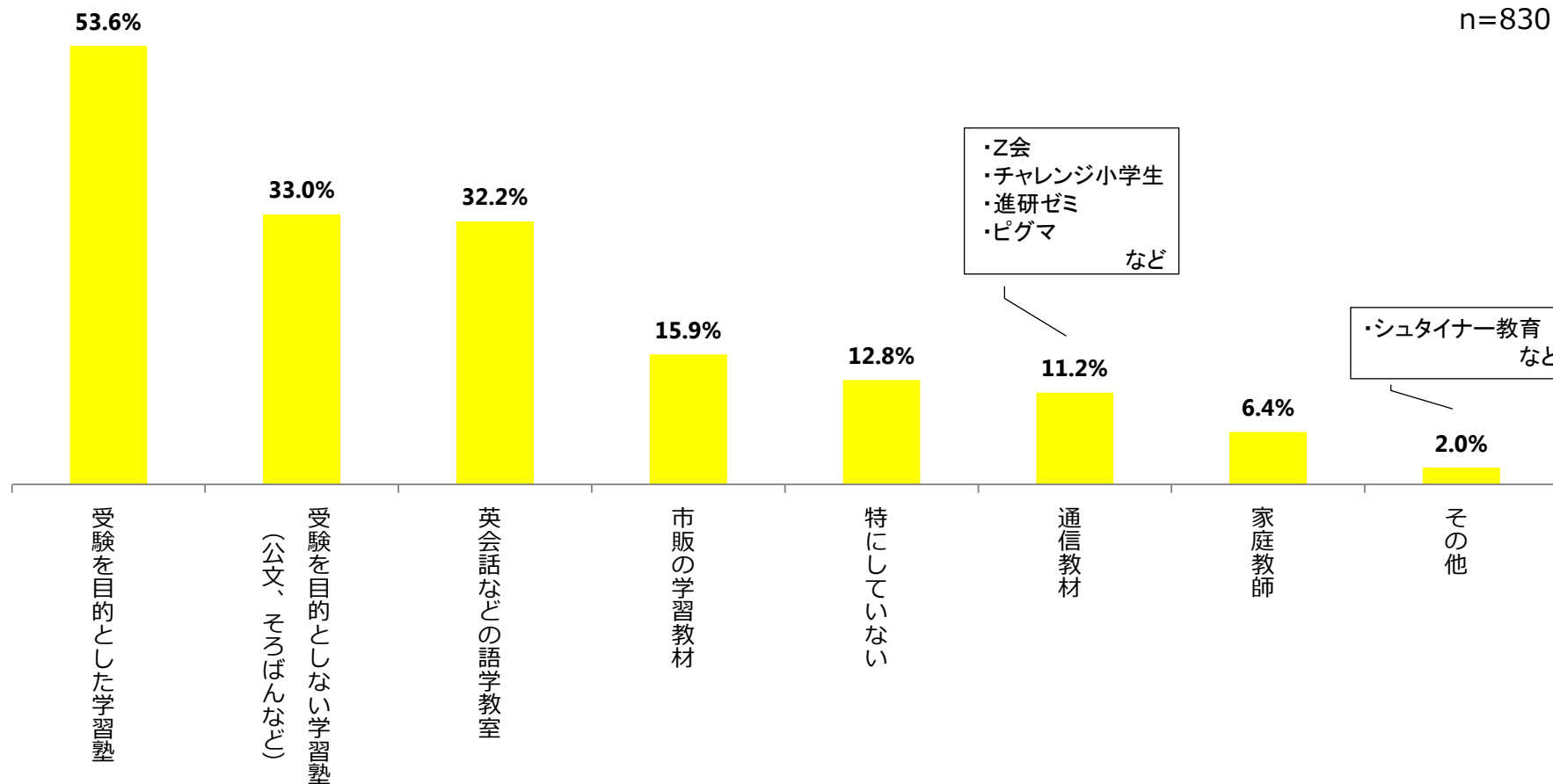


◎お子様が【就学前】に実施していた（している）学習方法として、「受験を目的とした学習塾」が最も多く、次いで「英会話などの語学教室」が挙げられた。また、3番目には「特にしていない」が挙げられた。

お子様が「小学生の時」に実施していた（している）学習方法

※複数回答

n=830

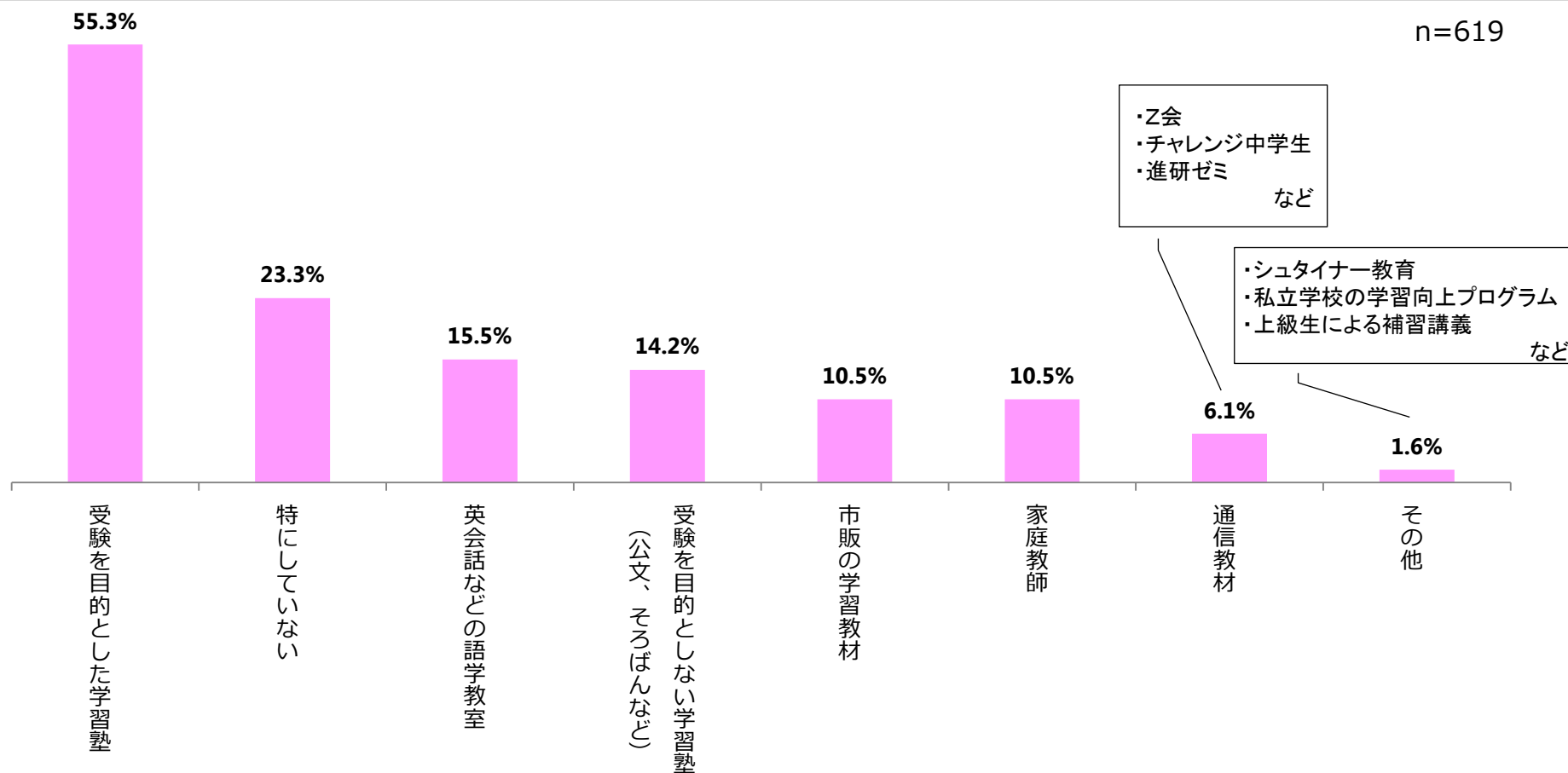


◎お子様が【小学生の時】に実施していた（している）学習方法として、「受験を目的とした学習塾」が半数以上で最も多く、次いで「受験を目的をしない学習塾」や「英会話などの語学教室」が挙げられた。

お子様が「中学生の時」に実施していた（している）学習方法

※複数回答

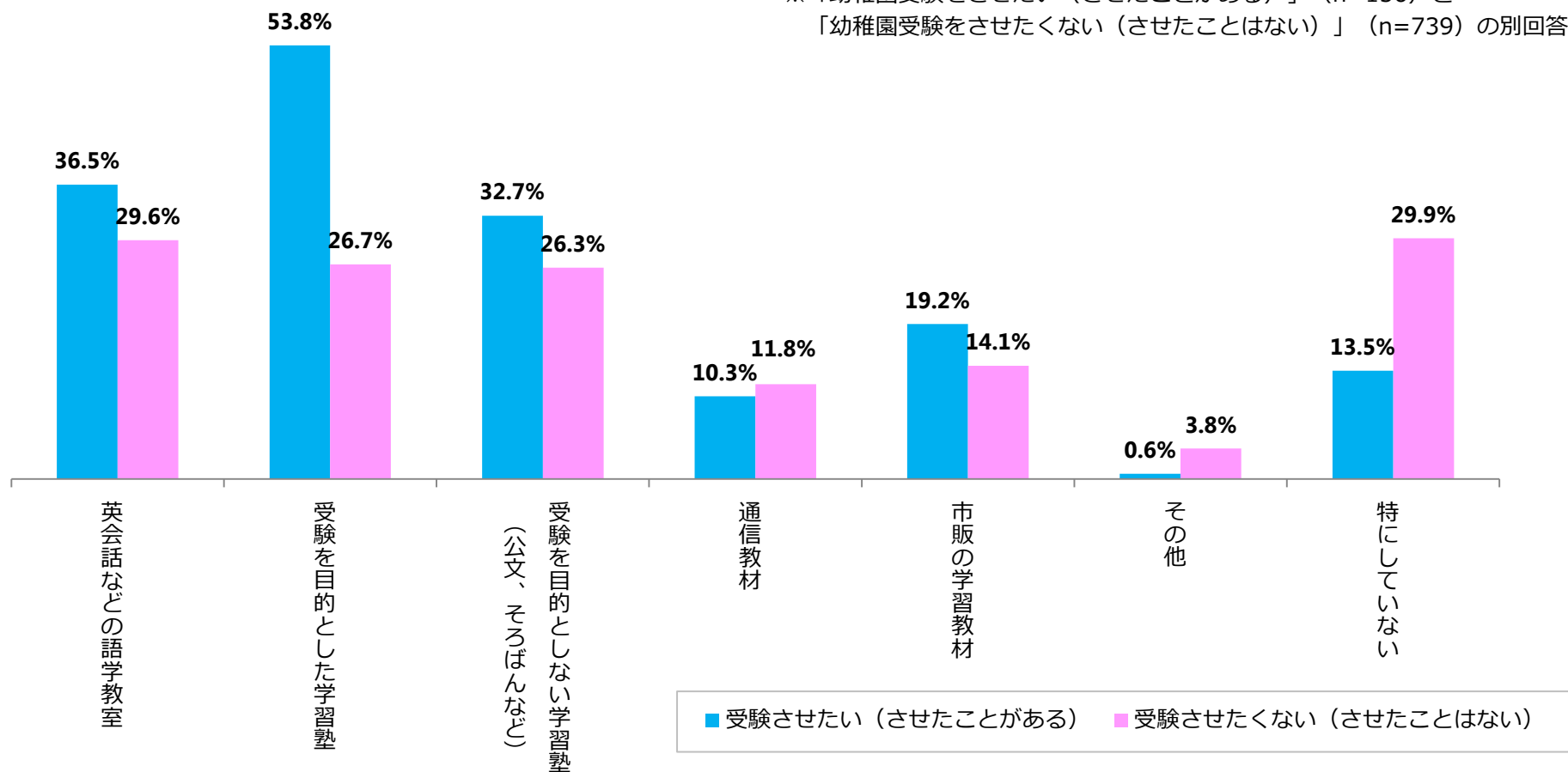
n=619



◎お子様が【中学生の時】に実施していた（している）学習方法として、「受験を目的とした学習塾」が半数以上で最も多く挙げられた。次いで「特にしていない」が約20%と多く挙げられた。

【幼稚園受験についてのお考え（ご経験）別】 お子様が「就学前」に実施していた（している）学習方法 ※複数回答

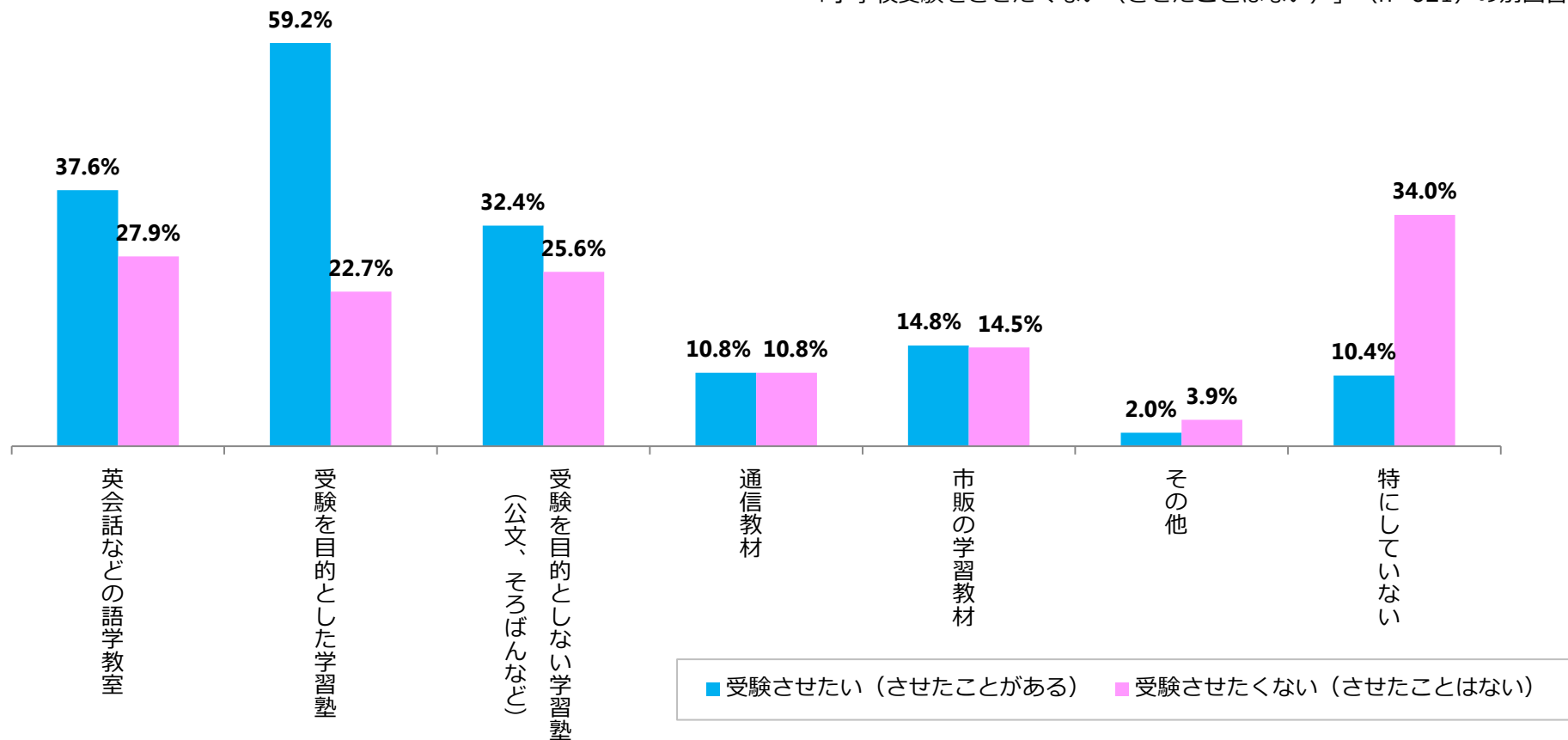
※「幼稚園受験をさせたい（させたことがある）」（n=156）と
「幼稚園受験をさせたくない（させたことはない）」（n=739）の別回答



◎幼稚園受験をさせたい（させたことがある）とお考えの先生のお子様が実施していた（している）学習方法として、「受験を目的とした学習塾」が半数以上で最も多く挙げられた。また、受験させたくない（させたことはない）とお考えの先生では、「特にしていない」が約30%と多く挙げられた。

【小学校受験についてのお考え（ご経験）別】 お子様が「就学前」に実施していた（している）学習方法 ※複数回答

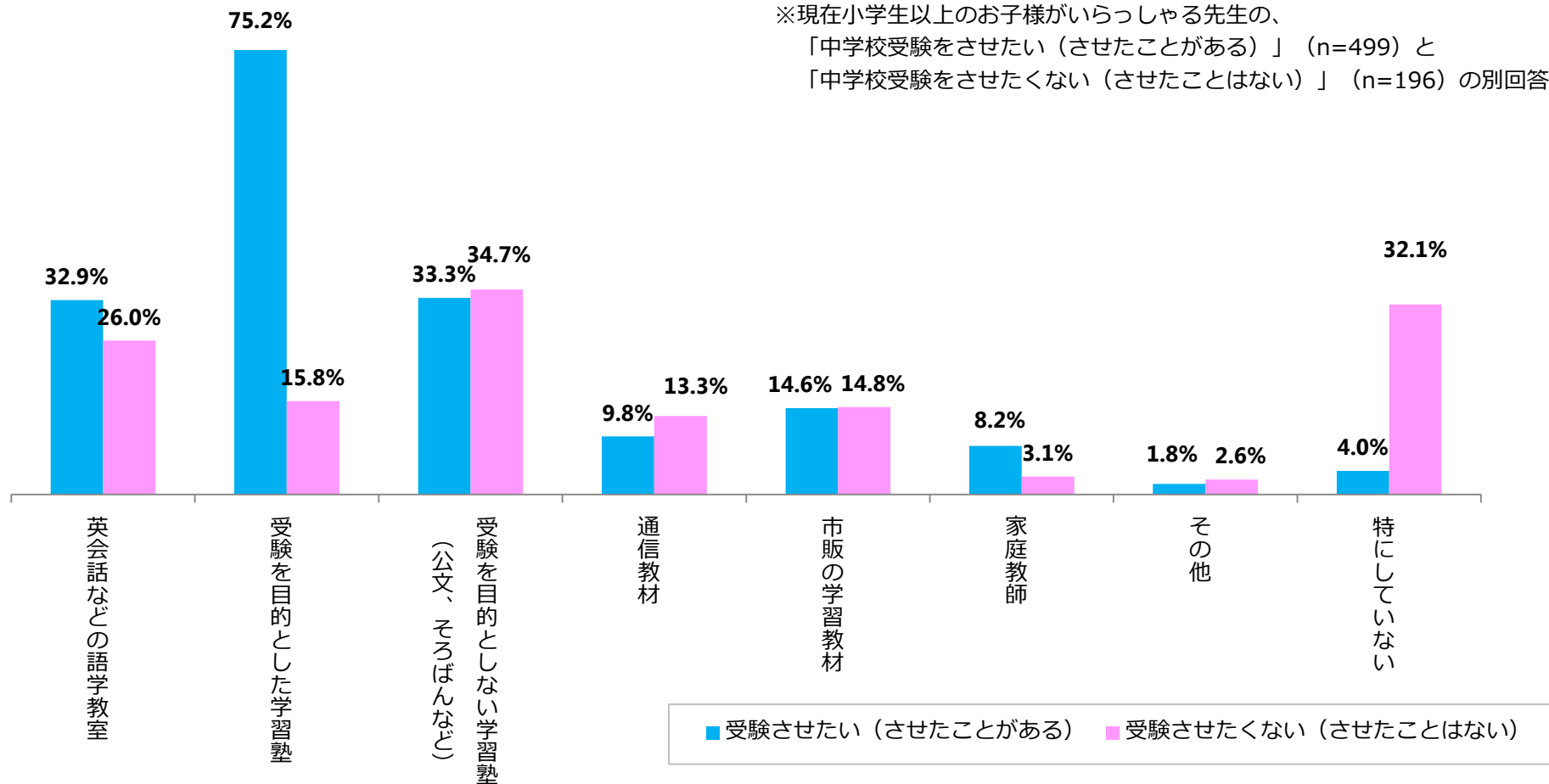
※「小学校受験をさせたい（させたことがある）」（n=250）と
「小学校受験をさせたくない（させたことはない）」（n=621）の別回答



◎小学校受験をさせたい（させたことがある）とお考えの先生のお子様が実施していた（している）学習方法として、「受験を目的とした学習塾」が約60%で最も多く挙げられた。また、受験させたくない（させたことはない）とお考えの先生では、「特にしていない」が約35%と多く挙げられた。

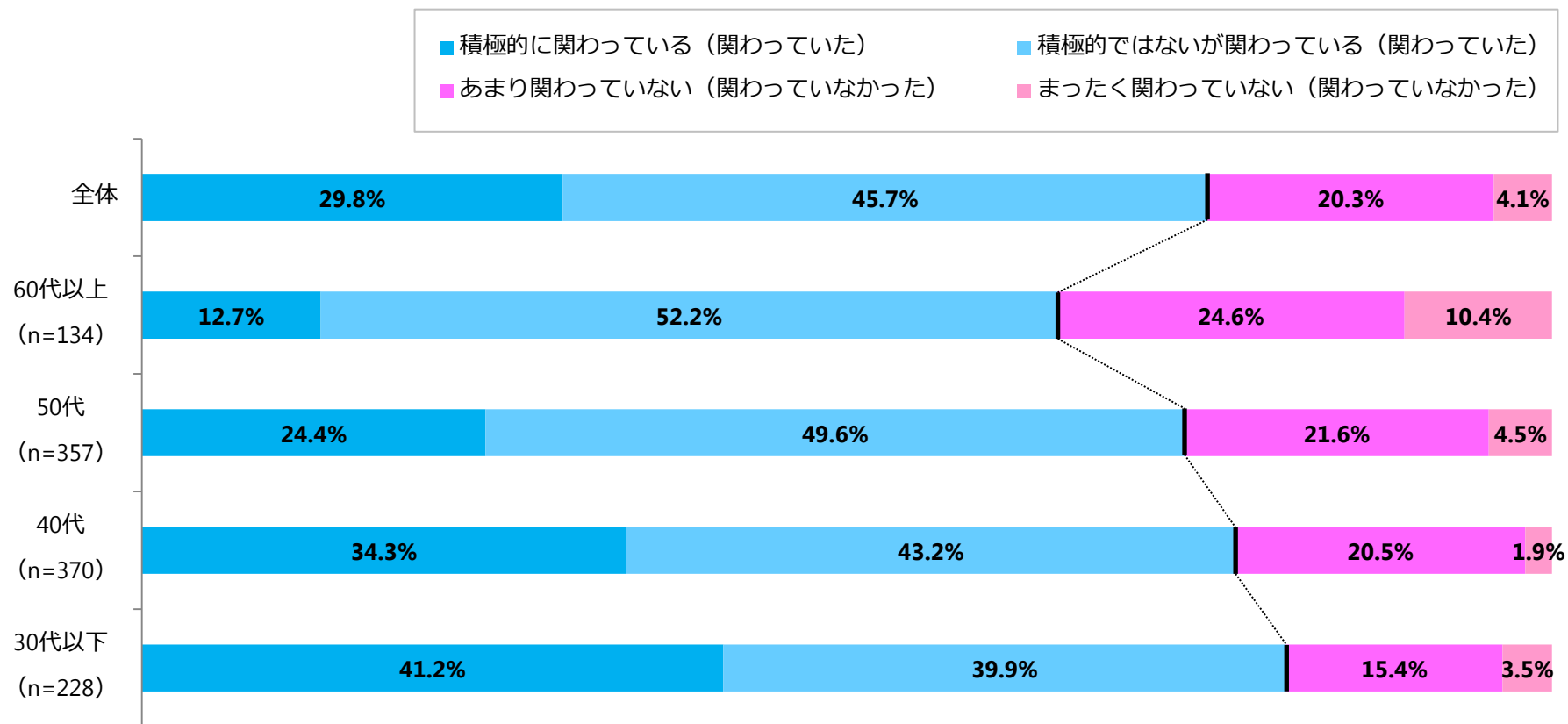
【中学校受験についてのお考え（ご経験）別】 お子様が「小学生の時」に実施していた（している）学習方法 ※複数回答

※現在小学生以上のお子様がいいらっしゃる先生の、
「中学校受験をさせたい（させたことがある）」（n=499）と
「中学校受験をさせたくない（させたことはない）」（n=196）の別回答



◎中学校受験をさせたい（させたことがある）とお考えの先生のお子様を実施していた（している）学習方法として、「受験を目的とした学習塾」が約75%と最も多く挙げられた。また、受験させたくない（させたことはない）とお考えの先生では、「受験を目的としない学習塾」や「特にしていない」がそれぞれ約30%と多く挙げられた。

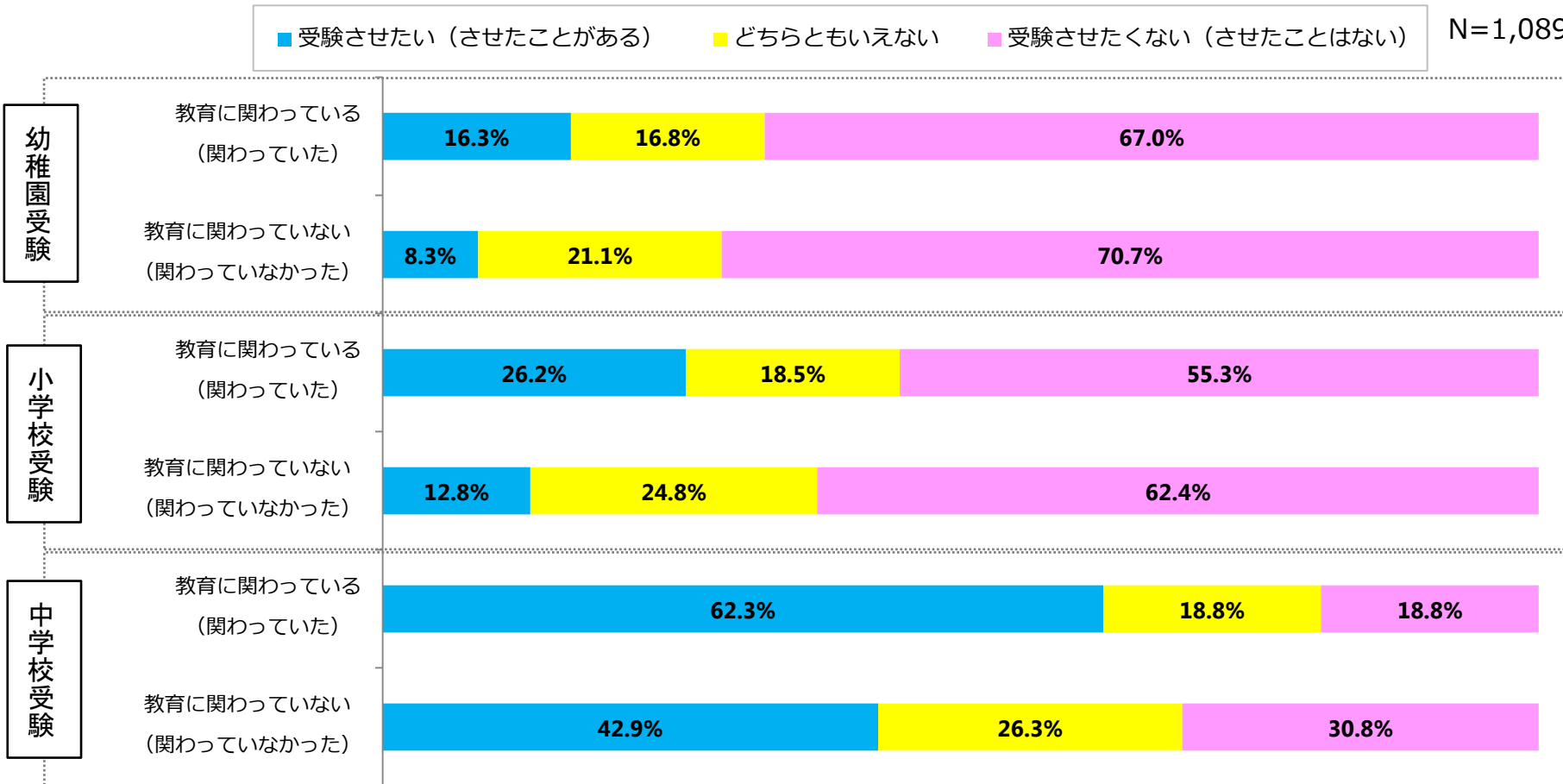
お子様の教育への関わり方



◎先生の年齢が若いほど、「お子様の教育に積極的に関わっている（関わっていた）」と回答された。また、全体では75.5%の先生が、お子様の教育に関わっている（関わっていた）と回答された。

お子様の教育への関わり方による受験についてのお考え（ご経験）

※「関わっている（関わっていた）…積極的に関わっている（関わっていた）／積極的ではないが関わっている（関わっていた）
「関わっていない（関わっていなかった）」…あまり関わっていない（関わっていなかった）／まったく関わっていない（関わっていなかった）」



◎お子様の教育に「関わっている（関わっていた）」先生の方が、「幼稚園受験」「小学校受験」「中学生受験」のいずれも「受験をさせたい（させたことがある）」と回答された割合が高く、二群間の受験意向の差は学齢が上がるにつれ、広がる傾向がみられた。

お子様の教育への関わり方（自由回答抜粋）

お子様の教育への関わり方

積極的に関わっている
（関わっていた）

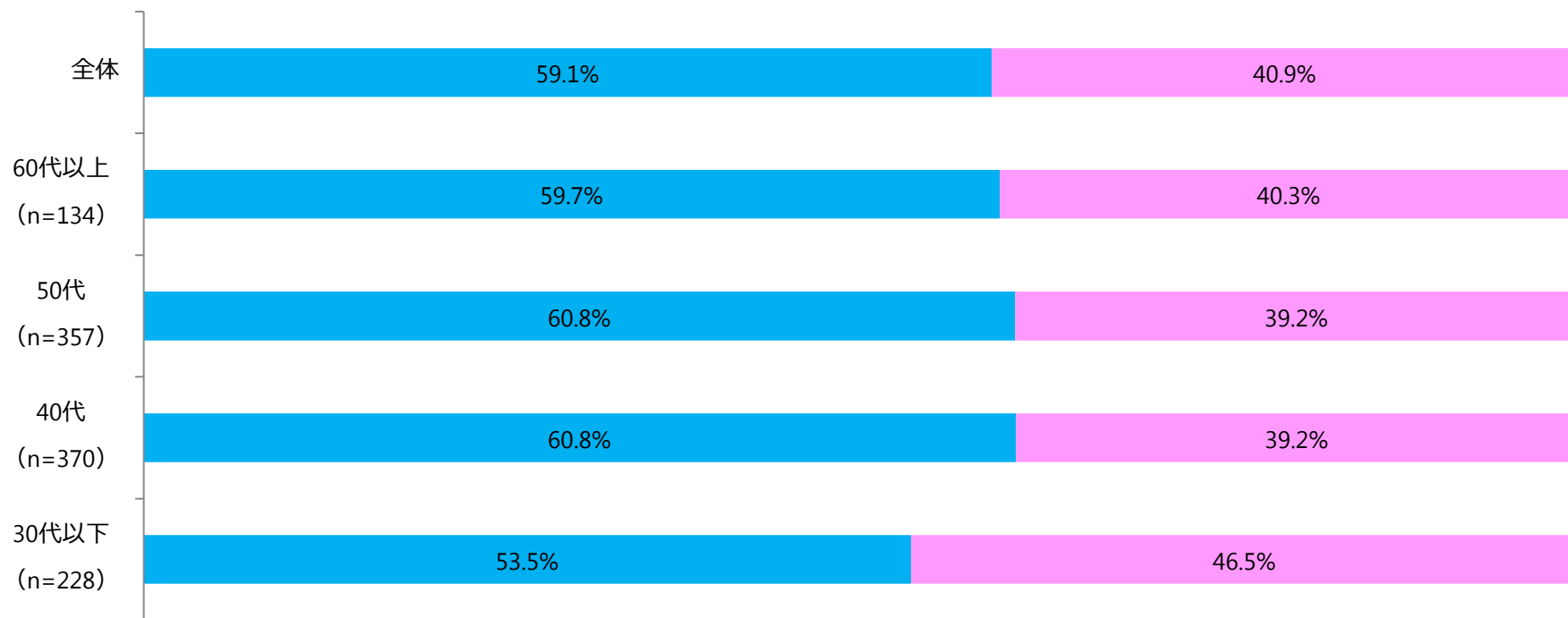
- ・ 保育園や塾、習い事はすべて自分が決定している
- ・ 市販の学習ドリルや通信教育(Z会など)と一緒に毎晩解くようにする
- ・ より良い習い事はないか探している。塾で出された宿題や課題を家で一緒に取り組んでいる
- ・ 到達度を確認し、正誤確認をし、次の目標設定をする
- ・ 将来の大学受験を目標に小学校の時から計画を立てていた
- ・ 具体的にどのようなストラテジーで育てるかを考え、そのために必要な学習プログラムを考え、資料を取り寄せている
- ・ 生活リズムの中に、勉強を組み込んでいる
- ・ 塾でわからない問題、web配信の授業を一緒に見て、一緒に問題を解く
- ・ 英会話風景をみたり、珠算検定の成績をみるなど学習効果を直接みる
- ・ 小学生時には模擬試験に同行したり、進学情報を得る為に予備校などの主催するイベントに参加する

積極的ではないが
関わっている
（関わっていた）

- ・ 興味を持つことあるいは持ちそうなこと、得意そうなことについて、次のステップになりそうなことを差し出す
- ・ 1日の勉強量や将来の目標校などについて話し合ったり、塾の進学説明会への参加、子供と高校見学などを行っている
- ・ 教育方針を夫婦で統一している
- ・ 一緒に知育アプリ、玩具で遊ぶようにしている
- ・ 子どもの理解状況に応じて教材や教え方を工夫する
- ・ 教育方針の相談と決定にかかわり、塾や家庭教師の選定のための情報集めをした
- ・ やりたいと子供が言えば何でもやらせる／やらせてあげる
- ・ 自分が思う子供によさそうな教育を提供できるように家族と話しあった
- ・ 相談に乗って、一緒に考える機会を持つように心がけている
- ・ 本人の自主性に任せ質問されたら答えるように自分も勉強していた

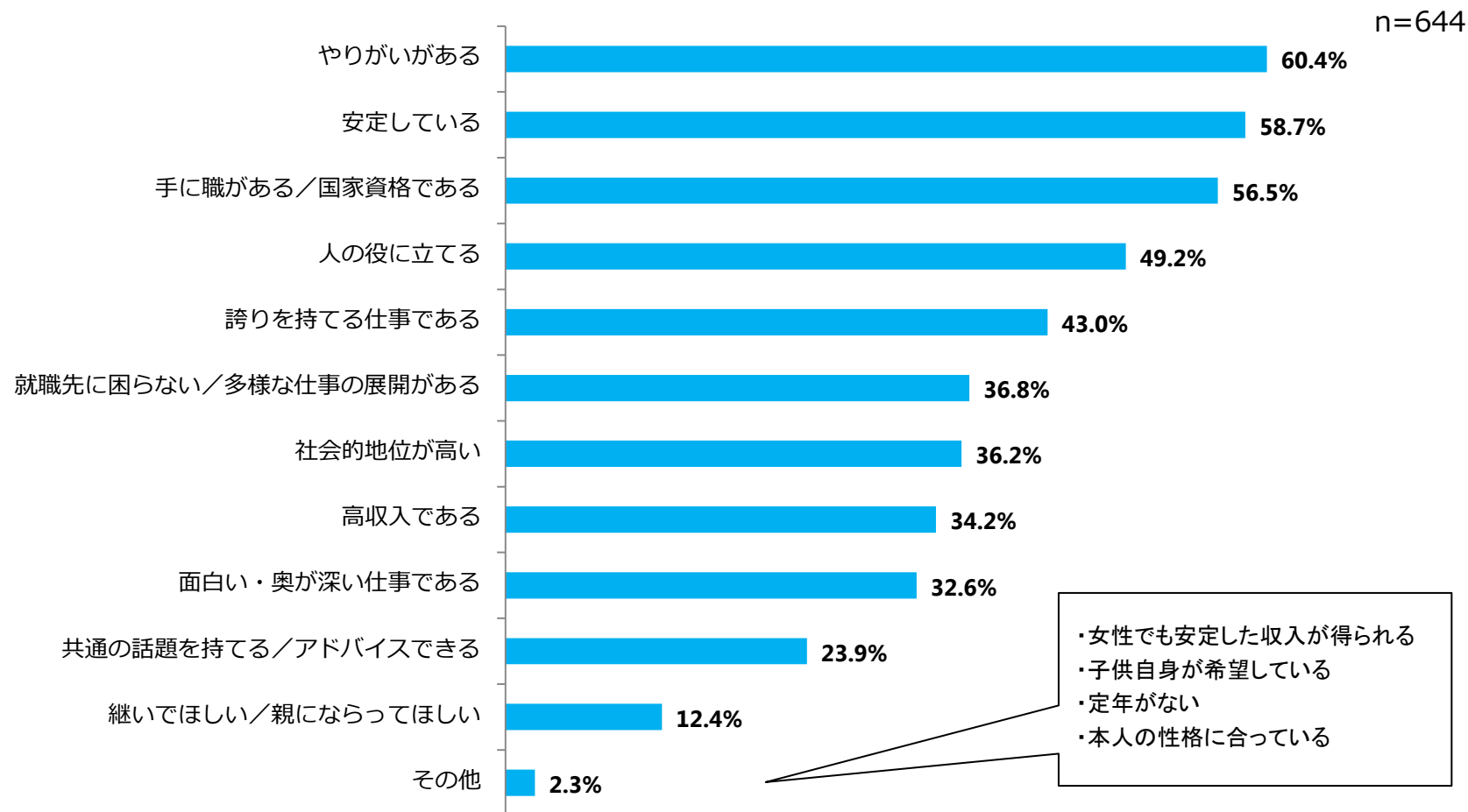
Q.お子様が将来、医師になって欲しいと思いますか

■ 医師になって欲しいと思う（思っていた） ■ 医師になって欲しいと思わない（思わなかった）



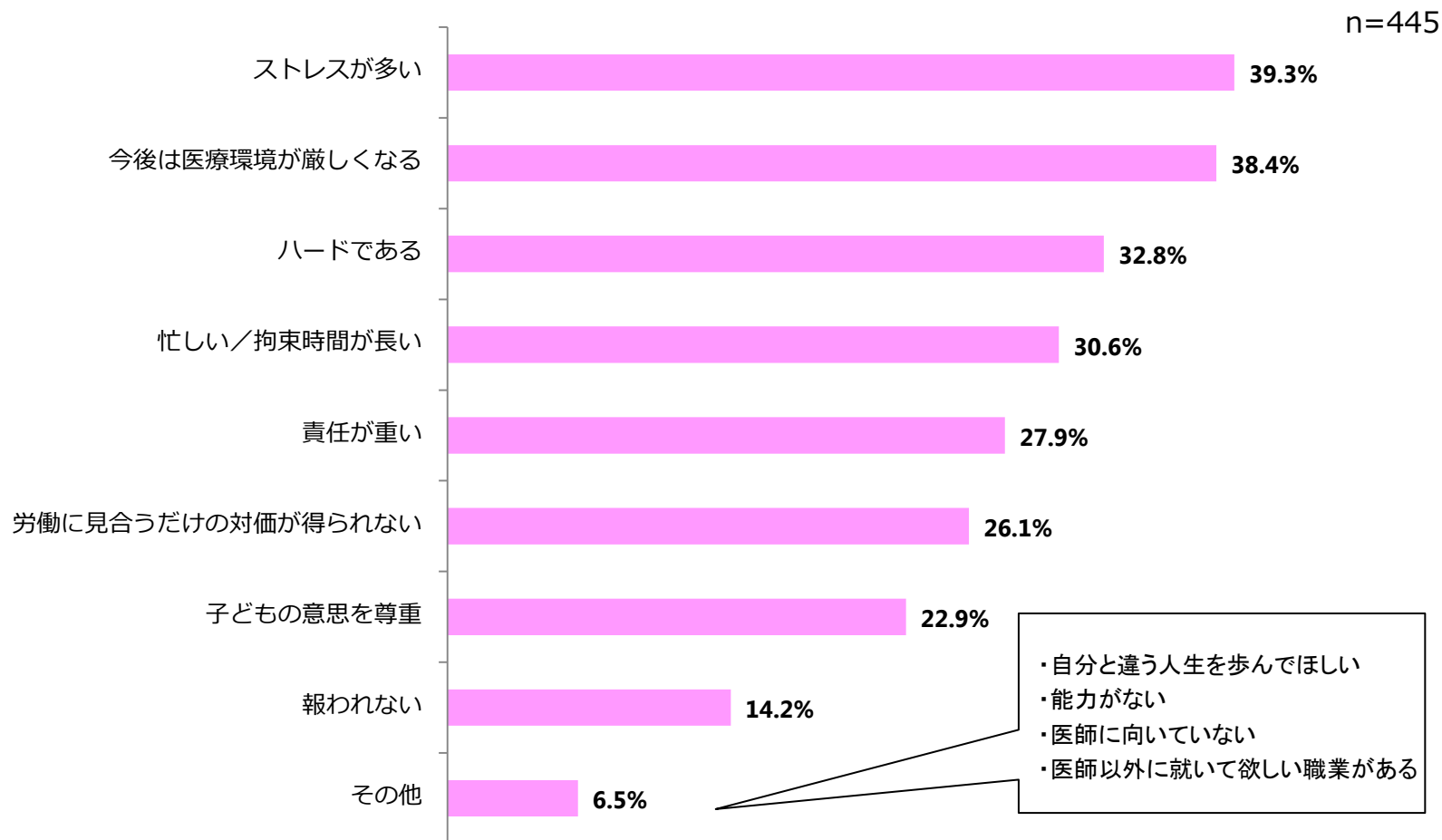
◎年代を問わず、約60%の先生は「お子様に医師になって欲しいと思う（思っていた）」ことがわかった。

医師になって欲しいと思う（思っていた）理由 ※複数回答



◎医師になって欲しいと思う（思っていた）理由として、「やりがいがある」が最も多く、次いで「安定している」が挙げられた。

医師になって欲しいと思わない（思わなかった）理由 ※複数回答



◎ 医師になって欲しいと思わない（思わなかった）理由として、「ストレスが多い」が最も多く、次いで、「今後は医療環境が厳しくなる」が挙げられた。

プラメドの医師会員に聞きました！はくプラメド会員の先生が他のプラメド会員の先生に聞いてみたいテーマで実施するアンケート>です。アンケート結果は、毎回私たちが普段知りえない先生方の勤務状況やお考えについて新たに知る機会となっています。

今回のアンケートでは、「子どもの教育」についてお伺いしました。調査結果からは、普段からお子様の勉強を見たり、塾や習い事の選定をしたりと、7割以上の先生方は、お子様の教育に関わっている（関わっていた）ことがわかりました。また、お子様の受験について、中学校受験をさせたい（させたことがある）とお考えの先生が約6割に上りました。お子様の将来については、「将来、医師になって欲しいと思う（思っていた）」先生が約6割と多く挙げられました。

本アンケートの結果が、会員の皆様のご参考になれば幸いです。

今後とも何卒宜しくお願い申し上げます。プラメド社員一同

社名にこめられた想い

Platform for Medicine = PLAMED

社名の「PLAMED(プラメド)」は、「Platform for Medicine」の略です。

プラメドは、その社名に込められた通り、医学の目的のために活動をしているインテリジェントグループ企業です。

この社名に則り、医療現場の“現状”“問題”“解決策”を正確に把握し、医療現場や社会に迅速に伝えるための仕組みを提供していきます。そして、「医療現場からの発信」を掛け声に、より良い医療環境づくりのためのお手伝いをしていきます。

